dCS

Scarlatti

Remote Control

取扱説明書

株式会社太陽インターナショナル
〒 103-0027 東京都中央区日本橋 2-12-9
日本橋グレイス 1F
Tel : 03-6225-2777 Fax : 03-6225-2778
<URL> http://www.taiyo-international.com

目次

プロント・リモートコントロールについて.....2

各部の名称.....3

プロント・リモートコントロールの使用方法.....4

ホームページ（Home Page）.....6

スカルラッティ・DAC の操作.....7

DAC ページ 1– インプット.....7

DAC ページ 2– オプション.....7

DAC ページ 3 – コントロール.....7

スカルラッティ・トランスポートの操作.....8

トランスポートページ 1 –コントロール.....8

トランスポートページ 2 キー.....8

トランスポートページ 3 – プレーモード.....8

トランスポートページ 4 –コントロール.....9

スカルラッティ・クロックの操作.....10

クロックページ 1–クロック.....10

クロックページ 2– コントロール.....10

スカルラッティ・アップサンプラーの操作.....11

アップサンプラーページ 1– 設定.....11

アップサンプラーページ 2 コントロール.....11

問い合わせ先.....12

プロント・リモートコントロールについて

dCS スカルラッティ・トランスポートにはフィリップスのプロント・リモートコントロールが付属しています。これはスカルラッティシステム全体をコントロールするように dCS でプログラムされたものです。このマニュアルはスカルラッティのためのプログラムのご案内です。パガニーニ、プッチーニにも使用することは可能です。

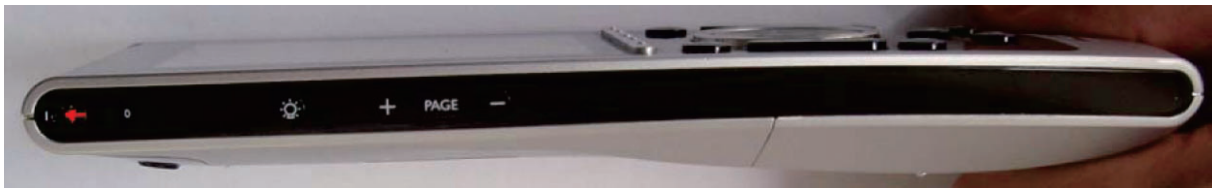
注意：当社はユーザーによってカスタム化されたプログラムによるトラブルなどついては一切の責任を放棄いたします。またカスタム化については一切のサポートを行いませんので、ご了承ください。

各部の名称

Control Panel
QVGA touch screen
Cursor keys
Rotary wheel
Hard keys
Stylus
Firm keys
USB connector
Power switch
Backlight key
Page + / Page – keys
Docking Station
Panel connector
Power adapter

プロント・リモートコントロールの使用方法

プロントを取り出しましたら、左側側面にあるスライドスイッチをスライドさせて、0 から 1 にします。プロントの下に格納されているスタイラスを使用すると便利です。



必要なら、アダプターをチャージにします。ベースの裏側にあるプラグインコネクターに AC 電源用のプラグを差し込みます。

プロントをチェージャーの上に載せます。使用前にチャージしましょう。チャージが完了すると赤い警告灯が消えます。プロントをベースに載せておけば、バッテリーはいつでもチャージされています。

プロントのスクリーンと共に使用状態にするには以下の方法を行います。

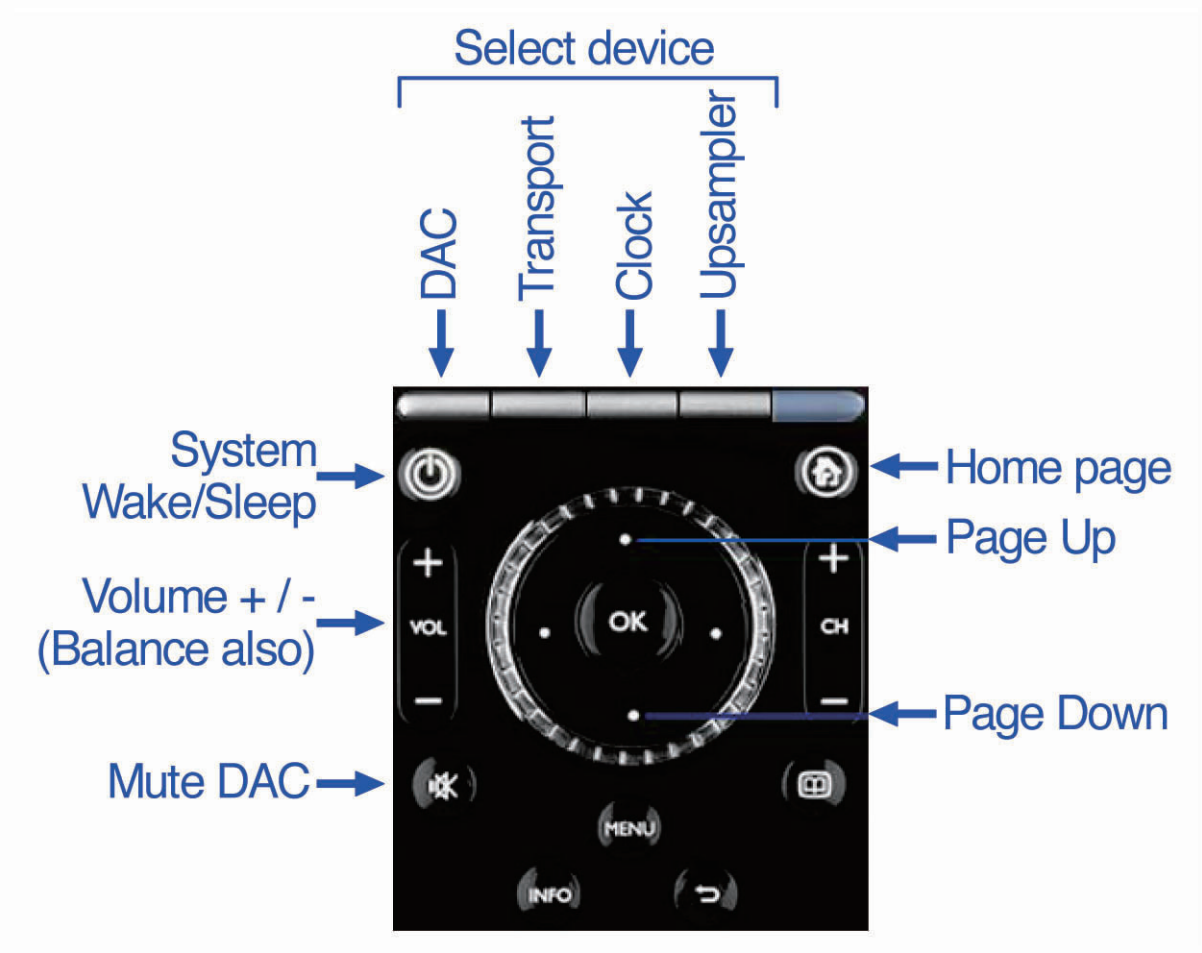
・プロントを傾ける

・スクリーンに触れる

・ランプボタン を押すか、左側面にあるページ (Page) +/− ボタンを押す。

・下図の作動ボタン (コントロールパネルにある) のどれかを押す。

プロントは最後にボタンを押してから約 20 秒でパワーダウンします。

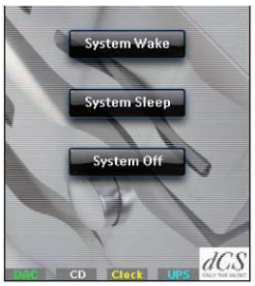


リモートコントロールを使用するにはスクリーンまたはコントロールパネルにあるボタンに触れます。

コントロールパネルにある丸いカーソルまたは左側面にあるページ +/− ボタンは選択されたデバイスの次のページ、またはページを戻るときに使用します。

ホームページ（Home Page）

ホーム（Home）ボタンを押すことでこのページを使用できます。



- dCS システムがスリープモードであれば、システムウェイク（System Wake）ボタンを押して作動モードにします。
- 演奏を終えるとき、システムスリープ（System Sleep）ボタンを押すことで dCS システムはスリープモードに入ります。スリープモードではシステムは温められており、いつでも使用状態になります。
- 完全にスイッチを切る場合、パワーダウン（System Off）ボタンを押します。一度パワーダウンしたら、dCS 機器は各ユニットフロントパネルのパワーボタンを押さねばなりません。
- スクリーン下部のシルバーのボタン（DAC, CD, Clock, UPS）を押すとその 1 ページ目にジャンプします。選択されたデバイス名はスクリーンの上部に表示されます。

スカルラッティ・DAC の操作

シルバーボタン、DAC を押すことで、DAC ページの 1 ページ目にジャンプします。

DAC ページ 1– インプット

以下のボタンを押して入力を選択します。

- Next: 順番にある次の入力を選択します。
- 1394–0: 1394 インターフェィス、ソース 0 を選択。同様に 1394–1 はソース 1 を、1394–2 はソース 2 を選択します。これ以上のソースが接続されていれば、ネクスト (Next) ボタンを選択します。

パガニーニ DAC は同様に操作できますが、スカルラッティよりは入力端子が少ないです。プッチーニはネクストボタンのみ使用できます。

DAC ページ 2– オプション

- フィルター (Filter) ボタンは DAC フィルター設定を変更します。フィルターについては DAC の取説をご参照ください。
- ボリューム / バランス (Volume/Balance) ボタンによって左側にあるボリュームコントロールでバランスを調整します。変更を戻すにはもう一度このボタンを押します。
- フェーズ (Phase) ボタンは DAC アナログ出力の位相を変更します。ノーマルにするにはもう一度このボタンを押します。
- マスター (Master) ボタンによって DAC のクロックはシステムのマスターになります。DAC 取説によって DAC をマスターモードとして使用できるように正しくケーブルが接続されていなければなりません。(DAC 取説を参照) スレーブ (Slave) ボタンは選択された入力に対し DAC をスレーブモードにします。DAC は各入力に対して選択されたモードを記憶します。

パガニーニ DAC は同様に操作できますが、プッチーニはフィルター、バランス、フェィズボタンのみ動作します。

DAC ページ 3 – コントロール

- メニュー・セット (Menu/Set) ボタンを押すことでメニューを開きます。> ボタンによってリストをスクロールします、また、< によってスクロールバックします。メニュー / セット (Menu/Set) ボタンを押すことによって変更を選択、もしくは変更の設定を行います。
- ディスプレイ オン / オフ (Display On/Off) ボタンによってメインディスプレイのオン / オフします。
- ウェイク / スリープ (Wake/Sleep) ボタンによって、演奏の最後に DAC 出力をニューとし、メニューが開いていればそれを閉じ、ディスプレイを消します。もう一度このボタンをおすと通常のオペレーションに戻ります。

パガニーニ DAC は同様に操作できます。

スカルラッティ・トランスポートの操作

シルバーボタンの CD を押すとトランスポートページの 1 ページにジャンプします。

トランスポートページ 1 ―コントロール

上から下へ向けて、これらのインジケーターは

- ディスクをストップ / イジェクト (Stop/Eject)
- プレイ / ポーズ (Play/Pause)
- 前トラック、次トラック
- 早戻し、早送り：一度押すと 2 倍速で、もう一度押すと 4 倍速、さらにもう一度押すと 8 倍速、そしてもう一度押すとプレイモードに戻ります。
- CD/SACD はハイブリッドディスクのレイヤーを変更します。

パガニーニトランスポート、プッチーニとも同様に動作します。

トランスポートページ 2 キー

0 – 9 ボタンによって演奏するトラックを選択、またはプログラムトラックを選択します。例えば 5 を押すことでトラック 5 に、また 1 を押してすぐに 2 を押すとトラック 12 に行きます。プログラムモード (PGM) の時は、クリアー (Clear) ボタンを押すことで最後に入力したトラックをデリートします。1~9 を選択するには最初に 0 を押すことによってより早くコマンドできます。

下に位置するプレイ / ポーズ (Play/Pause) ボタンはそのまま普通に働きます。

パガニーニトランスポート、プッチーニとも同様に動作します

トランスポートページ 3 – プレーモード

- ディスプレイモード (Display Mode) はディスプレイされた情報を変更します。経過トラック時間 (Track Elapsed)、トラック残量時間 (Track Remain)、全経過時間 (Total Elapsed)、全残量時間 (Total Remain) が選択できます。
- リピート (Repeat) ボタンによって、今演奏しているトラックをリピート (Repeat TRK)、もう一度押すとディスク全体をリピート (Repeat DSC) します。さらにもう一度押すとリピートがキャンセル (Repeat Off) されます。
- プログラム (Program) を一度押すとトラック順をプログラムするモードとなります (PRG Mode)。リモートはキーに変わります。希望のトラックを順に入れていき (例、01,03,05,08...)、プレイを押して演奏を聴きます。プログラムをもう一度押すとトラック順はキャンセルされ (PRG Off)、ディスクは通常に演奏されます。
- プログラムモード (PGM) の時はクリアーボタン (Clear) によって最後に入力したトラックをデリートできます。

パガニーニトランスポート、プッチーニとも同様に動作します

トランスポートページ 4 ―コントロール

- メニュー / セット (Menu/Set) ボタンによってメニューを開きます。> ボタンによっ

てリストをスクロールします。または < ボタンによってスクロールバックします。メニュー / セット (Menu/Set) を押すことで選択、または設定変更をします。

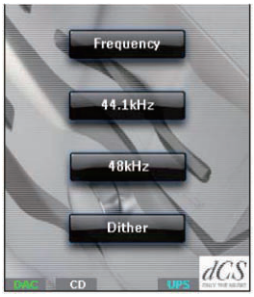
・ ディスプレイオン・オフ (Display On/Off) ボタンによってメインディスプレイをオン / オフします。

・ ウェイク・スリープ (Wake/Sleep) ボタンを押すことで演奏を終了するときにDAC 出力をミュートし、メニューが開いていればそれを閉じ、ディスプレイを消します。もう一度押すと通常の動作に戻ります。

パガニーニトランスポート、プッチーニとも同様に動作します

スカルラッティ・クロックの操作

シルバーボタンの Clock を押すとクロックページの 1 ページにジャンプします。



クロックページ 1—クロック

- 周波数ボタン（Frequency）を押すことでクロック周波数を変更します。
- 44.1k ボタンはクロック周波数を 44.1kHz に設定します。
- 48k ボタンはクロック周波数を 48kHz に設定します。
- ディザ（Dither）ボタンはディザをオン・オフします。

パガニーニクロックは同様に動作します。

クロックページ 2— コントロール

- メニュー / セット（Menu/Set）ボタンによってメニューを開きます。>ボタンによってリストをスクロールします。または、<ボタンによってスクロールバックします。メニュー / セット（Menu/Set）を押すことで選択、または設定変更をします。
- ディスプレイオン・オフ（Display On/Off）ボタンによってメインディスプレイをオン / オフします。
- ウェイク・スリープ（Wake/Sleep）ボタンを押すことで演奏を終了するときに DAC 出力をミュートし、メニューが開いていればそれを閉じ、ディスプレイを消します。もう一度押すと通常の動作に戻ります。

パガニーニクロックは同様に動作します。
プッチーニクロックは赤外リモートに対応していません。

スカルラッティ・アップサンプラーの操作

シルバーボタンの UPS を押すとアップサンプラーページの 1 ページにジャンプします。

アップサンプラーページ 1– 設定

- 上部にある 6 つのボタンを押すことによってアップサンプラーの作動する入力を選択します。(AES, RCA1, RCA2, BNC, TOS, USB)
- 下の 8 個のボタンによってアップサンプラーの出力モード、又はサンプルレートを選択します。(32, 44.1, 48, 88.2, 96, 176.4, 192, DSD) 88.2 または 96kS/s の出力レートではシングル・デュアル AES メニューページに設定されていることをご確認ください。アップサンプラーの出力サンプルレートは入力サンプルレートより高くなければ動作しません。(ダウンサンプルは不可)

アップサンプラーページ 2 コントロール

- メニュー / セット (Menu/Set) ボタンによってメニューを開きます。> ボタンによってリストをスクロールします。または、< ボタンによってスクロールバックします。メニュー / セット (Menu/Set) を押すことで選択、または設定変更をします。
- ディスプレイオン・オフ (Display On/Off) ボタンによってメインディスプレイをオン / オフします。
- ウェイク・スリープ (Wake/Sleep) ボタンを押すことで演奏を終了するときに DAC 出力をミュートし、メニューが開いていればそれを閉じ、ディスプレイを消します。もう一度押すと通常の動作に戻ります。

問い合わせ先

株式会社太陽インターナショナル

〒 103-0027

東京都中央区日本橋 2-12-9　日本橋グレイス 1F

TEL :　03-6225-2777（代表）

03-6225-2779（サービス課）

FAX :　03-6225-2778

ホームページ :　http://www.taiyo-international.com

02-01-2009